

報道機関各位

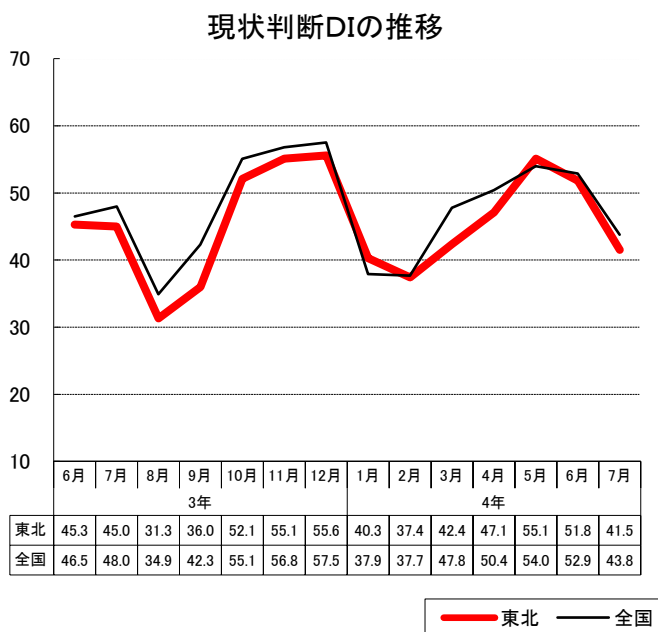
公益財団法人東北活性化研究センター
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和4年7月 東北分
 (東北6県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：増子 次郎 東北電力株式会社 会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和4年7月 東北分（東北6県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

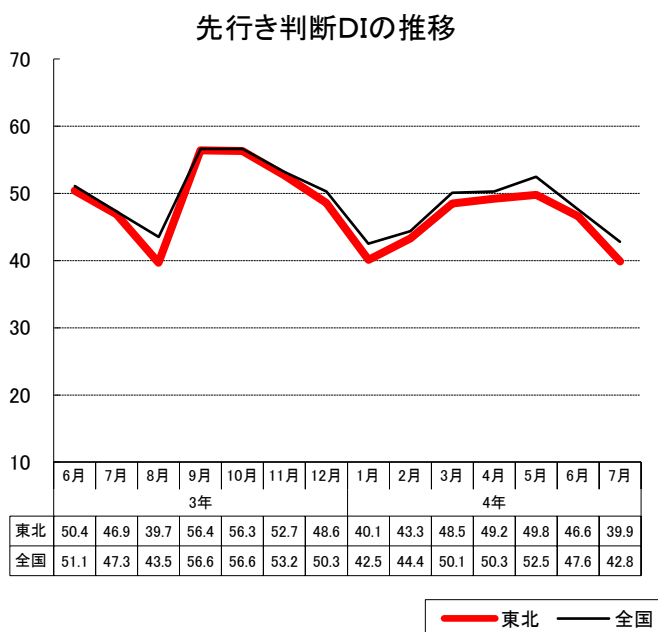
(1) 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断DIは「41.5」と2か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲10.3ポイント低下した。



(2) 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

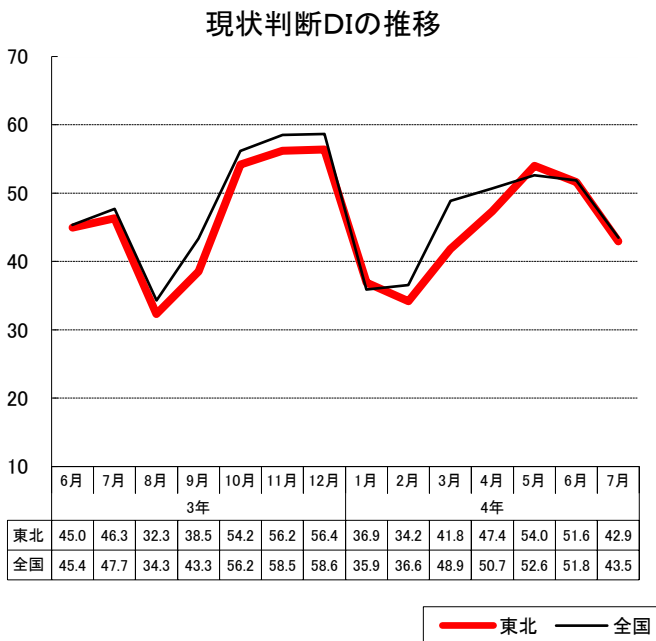
先行き判断DIは「39.9」と2か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲6.7ポイント低下した。



2. 原数値

(1) 現状判断 (3か月前との比較、方向性)

現状判断DIは「42.9」と2か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲8.7ポイント低下した。



○家計動向関連…スーパー、一般小売店、乗用車・自動車備品販売店等の業種でDIが前月を上回ったが、一般レストラン、コンビニ、旅行代理店等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「41.3」(▲9.8)と、2か月連続で前月を下回った。

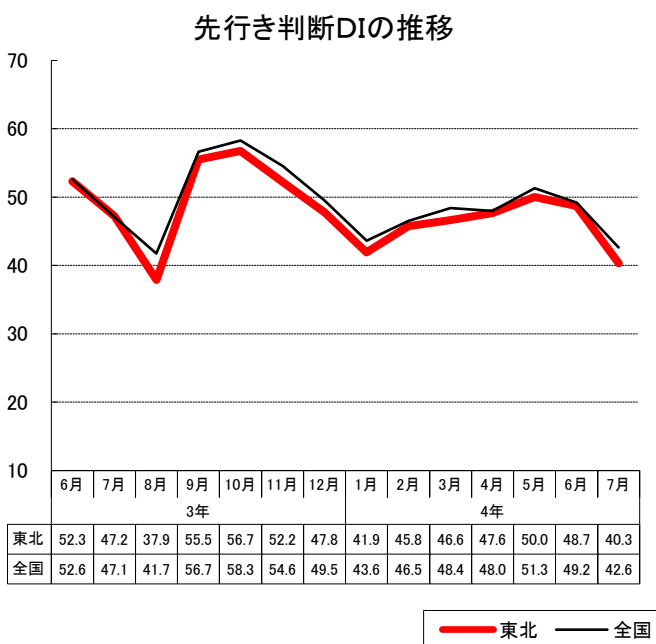
○企業動向関連…一般機械器具製造業、金融業、建設業等の業種でDIが前月を上回ったが、輸送業、食料品製造業、電気機械器具製造業等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「46.5」(▲3.5)と、2か月連続で前月を下回った。

○雇用関連…DIは「46.1」(▲11.8)と、4か月ぶりで前月を下回った。

(2) 先行き判断 (2~3か月先の見通し、方向性)

先行き判断DIは「40.3」と2か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲8.4ポイント低下した。



○家計動向関連…スーパー、設計事務所等の業種でDIが前月を上回ったが、コンビニ、商店街、観光型ホテル・旅館等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「38.3」(▲10.0)と、2か月連続で前月を下回った。

○企業動向関連…一般機械器具製造業、土石製品製造販売、食料品製造業等の業種でDIが前月を上回ったが、司法書士・経営コンサルタント・会計事務所、金融業、広告代理店・広告業協会等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「45.8」(▲1.3)と、前月を下回った。

○雇用関連…DIは「42.1」(▲11.8)と、2か月連続で前月を下回った。

<参 考>

■D I の推移（原数値）

（1）現状判断（方向性）D I

| | 3年 | | | | | | | 4年 | | | | | | |
|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 |
| 東北現状 | 45.0 | 46.3 | 32.3 | 38.5 | 54.2 | 56.2 | 56.4 | 36.9 | 34.2 | 41.8 | 47.4 | 54.0 | 51.6 | 42.9 |
| 家計動向関連 | 42.9 | 43.6 | 29.6 | 36.8 | 51.8 | 54.3 | 55.4 | 33.6 | 31.0 | 42.5 | 46.8 | 54.6 | 51.1 | 41.3 |
| 企業動向関連 | 49.3 | 50.8 | 37.5 | 43.4 | 56.6 | 55.1 | 56.6 | 40.0 | 38.6 | 40.0 | 47.1 | 51.4 | 50.0 | 46.5 |
| 雇用関連(参考) | 50.0 | 55.0 | 40.0 | 40.0 | 64.5 | 69.7 | 62.5 | 51.3 | 46.1 | 40.8 | 51.3 | 55.3 | 57.9 | 46.1 |

（2）先行き判断D I

| | 3年 | | | | | | | 4年 | | | | | | |
|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 |
| 東北先行き | 52.3 | 47.2 | 37.9 | 55.5 | 56.7 | 52.2 | 47.8 | 41.9 | 45.8 | 46.6 | 47.6 | 50.0 | 48.7 | 40.3 |
| 家計動向関連 | 50.2 | 43.2 | 36.6 | 53.9 | 53.7 | 50.4 | 45.7 | 40.9 | 45.1 | 46.4 | 47.0 | 49.1 | 48.3 | 38.3 |
| 企業動向関連 | 54.4 | 55.3 | 43.8 | 56.6 | 58.1 | 54.4 | 51.5 | 45.0 | 47.9 | 45.0 | 47.1 | 47.1 | 47.1 | 45.8 |
| 雇用関連(参考) | 61.3 | 57.5 | 36.3 | 62.5 | 72.4 | 59.2 | 54.2 | 42.1 | 46.1 | 51.3 | 52.6 | 60.5 | 53.9 | 42.1 |

※D I（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 令和4年7月25日～31日

回答者数 170/189 名、回答率 89.9%（全国 1,832/2,050 名、89.4%）

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：三浦 融）

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL：022-222-3394 FAX：022-222-3395

<別 紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「やや良くなっている」

- （一般小売店[医薬品]）…7月前半は3か月前よりもずっと良くなっていたが、中旬から月末にかけて新型コロナウイルスの感染が拡大したため、月末の1週間は深夜の客が減ってしまっている状況である。
- （スーパー）…新型コロナウイルスの感染状況が悪くなり、スーパーの需要が若干増えている。
- （乗用車販売店）…車両生産が数か月前と比較して回復基調にあり、徐々に売上に結び付いてきている。それに伴い新車収益はほぼ前年並みまで回復してきた。しかし、中古車部門は依然として在庫不足が深刻で、結果受注も芳しくない。
- （高級レストラン）…県民割などが使いやすいため、来客数が増えている。
- （タクシー運転手）…ゴールデンウィーク以降、一般利用客及び観光客の増加が顕著で、乗車回数も3か月前と比べ3割増加となっている。
- （一般機械器具製造業）…見積りの件数が増加している。
- （建設業）…大型の民間受注があった点では上向きといえる。しかし、着工までの期間が長い工事は資機材高騰の影響を受けやすい状況下であり、逆ザヤのリスクも出てきている。
- （金融業）…3年ぶりの大型夏祭り開催に向け、新型コロナウイルスの感染拡大を気にしながらも、多くの業種で相応に活気が戻っている印象を受ける。
- （職業安定所）…半導体関連の製造が好調である。また、コロナ禍ではあるが人々の外出の機会が増えたことにより、生活関連娯楽サービス業の求人数が増加し、求人件数が前年同月を上回っている。

○「変わらない」

- （百貨店）…来客数が微増していることに加え、客単価の向上により、全体としてはプラスの動きが続いている。月の後半に新規感染者数が爆発的に増え、一時的に来客数も減少したが、ウィズコロナでの消費行動が浸透しているのか、大きな落ち込みにはなっていない。
- （衣料品専門店）…新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されてから良くなりつつあると思えば、新規感染者数の増加に伴って買物をする消費者が少なくなったりと、行ったり来たりしており、結局3か月前とさほど変わらない状態である。
- （その他サービス[自動車整備業]）…夏になって気温が上がり、人出や消費が回復してきたところだったが、急激な感染拡大により鈍化した。かつてほど急激なマイナスではないが停滞している。
- （その他住宅[住宅展示場運営会社]）…天候の影響は受けていないが、新型コロナウイルスの感染拡大が来場者数の減少につながっている。新規感染者数が高止まりすると、特に新規客の動きが鈍くなる。
- （輸送業）…輸送業の景況感の良しあしは、もちろん物の動きが活発であるかどうかにもよるが、経営全体からみれば、とにかく利益を確保できるかどうかである。現在のように燃料価格が高騰している状況では、利益が消されてしまう。これでは決して景気が良いとはいえない。
- （人材派遣会社）…新型コロナウイルス感染症による商況の変化は余りなくなっている。新規感染者数の変化に関係なく、1年間や数年先を見た際に必要な人員確保に向けた採用が活発である。

○「やや悪くなっている」

- （商店街）…新型コロナウイルス感染症の第7波の影響を受け商店街の来街者が減少している。イベント等が行われる夏場の繁忙期に売上減少の要因となっている。
- （その他小売[ショッピングセンター]）…夏休みに入り人の動きは徐々にみられるものの、新型コロナウイルスの感染拡大により、消費マインドがかなり下回ってきているようである。
- （観光型ホテル）…新規感染者数の増加に伴い、予約のキャンセルが増えてきている。
- （通信会社）…新型コロナウイルスの新規感染者数が毎日最多更新され、行動範囲が厳しくなり経済に影響が

また出ている。物価も高騰しており、生活困窮の声も多くなっているようである。飲食業も原材料の価格高騰により赤字先が続いており、2か月後倒産件数が増える可能性が出てきている。よって景気がやや悪くなっている。

(遊園地) …新型コロナウイルス感染症の第7波により、中旬以降マインドが変わり、夏休みらしい人出になっていない。前年は4連休があったこともあり、下回る見込みである。

(美容室) …新規客がなかなか増えない状況が続いており、再来店の客も前年比90%である。美容業界については売上が持ち直していないということである。来店に対して感染への警戒感があるため、総来客数が減り、来店サイクルが長くなっているのではないかと。

(設計事務所) …官公庁案件においては、最低制限価格がない自治体は低価格での落札が、最低制限価格がある自治体では制限価格同額程度での応札が増加傾向にある。利益幅が縮小し、運営が厳しい状況に入ってきていると判断している。

(食料品製造業) …お中元商戦は前年を大きく下回りそうである。来客数は落ちていないが客単価が落ちている。1人当たりの発送件数が下がっている。土産需要も新型コロナウイルス新規感染者数が急増した影響で、3連休は良かったがその後急降下している。

(電気機械器具製造業) …世界的なインフレに伴い、スマートフォンやパソコン等の需要減少がみられる。それに呼応する形で取引先では生産量を制限しているようである。

(その他非製造業[飲食料品卸売業]) …新型コロナウイルスの感染拡大が消費者心理に影響を与えている。

(新聞社[求人広告]) …祭りが3年ぶりに復活するものの、周辺企業の話を見ると、どこからも厳しいという声しか聞かない。さらに、ここに来て新型コロナウイルスの感染が拡大しており、先行きが全くみえない状況になっている。

○「悪くなっている」

(コンビニ) …ゴールデンウィーク以降は人の動きも活発化していて売上増加を見込んでいたが、7月後半に新型コロナウイルスの感染状況が過去最多になり、人の動きが鈍化している。

(その他専門店[酒]) …新型コロナウイルス感染症の第7波による新規感染者数急増で、上向きかけていた状況が一転して悪い方向に変わってしまった。飲食店や売場の現場は様々な営業努力や工夫をしているが、今まで以上に危機感が漂っている。これに関する国や自治体の対応や救済がほぼないということも拍車を掛けている。

(一般レストラン) …新型コロナウイルスの新規感染者数が過去最多を更新し、来客数にかなり影響が出ている。また、サラダオイル一斗缶で2800円が7000円近くなるなど物価の上昇が激しくなっているため、その影響がかなり出ている。

(旅行代理店) …新型コロナウイルス感染症の第7波の影響により、6月まで上向き回復傾向にあった国内個人・団体の先行予約は鈍化傾向に陥っている。また、先行予約済み案件についてもキャンセルが出始めており、旅行業界は再び悪化している。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

(一般機械器具製造業) …需要に対し半導体及び半導体関連装置の生産がいまだに追い付いておらず、今後の受注量の増加が見込まれる。

○「変わらない」

(衣料品専門店) …秋物が動き出す頃で売上は期待できるが、円安や輸送費用の値上がりなどのため、インポート物が値上がりする。価格が上がるのが購買意欲のブレーキになる不安がある。

(設計事務所) …低調な景気状況が今後も継続するとみている。

(食料品製造業) …新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着かないと人の動きが鈍くなり、売上に影響する。

(土石製品製造業) …業界として値上げをしたが、需要は増えず減少するばかりである。原材料の価格高騰や燃料費の高騰は続いており、更なる値上げを検討せざるを得ない地区もある。

(輸送用機械器具製造業) …先々の動きはいまだみえてきていない。良い情報は余り入ってきていない。

(職業安定所) …主要産業の製造業では新型コロナウイルス感染症による中国でのロックダウン等を教訓に、製造拠点や受注先を国内に戻す動きが継続しており、求人意欲は堅調である。しかし、資材価格や固定費の高騰に苦しむ事業所が多く、景況感を押し下げており、相殺状態が続くとみている。

○「やや悪くなる」

(商店街) …秋にかけて新型コロナウイルスの感染状況の収束は見込めず、電気・ガス・原材料等の価格高騰による物価高もあることから、景気回復には時間を要する。

(スーパー) …資源、エネルギー、原材料の価格上昇は更に続き、製造コストも更に上がり、価格転嫁を進めなければならない。新型コロナウイルスの感染拡大のピークが過ぎても影響はまだ続き、行動制限はなくても自粛傾向は続くとみている。他方、行政の支援制度や補助金等で経営・営業を続けていたところは正念場となり、事業継続が厳しくなるところも多々出てくることを危惧している。消費環境の厳しさは今しばらく続くとみている。

(コンビニ) …このまま新型コロナウイルスの新規感染者数が増え続けると何かしらの制限が掛かり、人の動きも鈍るとみている。全てが新型コロナウイルス感染症次第だが、周りからも先行き不安の話しか出てこない。人手不足も始まってきている。人がいない、利益が出ない、休みがないコンビニの経営は今後どうなるのか見通せない。

(家電量販店) …ガソリン価格や物価の上昇が影響して、客の買い控えが進むとみている。

(一般レストラン) …新型コロナウイルスの感染状況が見通せないことと、物価高が更に進むとみられることから、全体的に今よりも更に厳しい状況になるのではないかとみている。体力がなくなっている。

(観光型ホテル) …新型コロナウイルス感染症の状況次第では、来客数は減少するとみている。

(金融業) …新型コロナウイルスの感染拡大、ウクライナ紛争の長期化、原料高の長期化など、夏祭り特需のリバウンドとともに多数の悪いシナリオが想定される。

(広告代理店) …原料価格の高騰と、新型コロナウイルス感染症の第7波による経済活動の不透明化が深刻である。

(公認会計士) …新型コロナウイルスの感染が拡大しているため、行動規制が行われるかもしれない。そのことにより自粛が必要になるという心理的要因と最近の円安による物価高から消費抑制が進み、サービス、小売、飲食関係の景気は悪くなる。建設関係は現状維持としても全体としての景気は悪くなるとみている。

(新聞社[求人広告]) …県内の新規感染者数の過去最多更新が続き、経済の停滞による広告の動きへの影響が懸念される。

○「悪くなる」

(旅行代理店) …新型コロナウイルス感染症の第7波の新規感染者数が減少傾向に転じない限り、悪化するのみである。

(タクシー運転手) …タクシー業界において、良い展望が開けるような材料がない。物価高や客の財布のひもが固いことを考えると希望が持てない。

(人材派遣会社) …足元で求人数の伸びが鈍化している。新型コロナウイルスの感染状況によりサービス業の求人数は上下するが、全体としてインフレ懸念及び米国の景気減速など、日本経済の主軸業種への影響は避けられず、既に一部で求人抑制の動きが出てきている。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上